



平成27年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年4月28日

上場会社名 株式会社シマノ 上場取引所 東
 コード番号 7309 URL <http://www.shimano.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島野 容三
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 井上 伸宏 (TEL) 072-223-3254
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第1四半期の連結業績 (平成27年1月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	98,022	29.5	23,191	63.0	27,218	96.8	20,443	104.8
26年12月期第1四半期	75,695	19.6	14,227	45.8	13,829	24.8	9,980	30.4

(注) 包括利益 27年12月期第1四半期 11,224百万円 (84.8%) 26年12月期第1四半期 6,073百万円 (△67.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第1四半期	220.53	—
26年12月期第1四半期	107.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第1四半期	401,886	337,930	83.9
26年12月期	396,967	331,195	83.2

(参考) 自己資本 27年12月期第1四半期 336,995百万円 26年12月期 330,263百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	52.50	—	52.50	105.00
27年12月期	—	—	—	—	—
27年12月期(予想)	—	52.50	—	52.50	105.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想 (平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	193,700	23.9	45,000	48.0	49,000	68.3	36,500	75.6	393.72
通期	357,000	7.2	76,500	16.2	80,500	13.3	59,000	15.1	636.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年12月期1Q	92,720,000株	26年12月期	92,720,000株
27年12月期1Q	15,687株	26年12月期	15,462株
27年12月期1Q	92,704,391株	26年12月期1Q	92,705,364株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は現時点において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確定要因に対する仮定を前提としております。従って、実績の業績は内外の状況変化により異なる結果となる場合がありますのでご承知おき下さい。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の3ページを参照して下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期におきましては、欧州では急速なユーロ安を背景に輸出の伸びが期待されたものの効果は限定的なものにとどまった一方、欧州中央銀行の金融緩和により消費マインドが改善したことで内需に明るさが見え始めました。米国では、雇用者数の伸びが堅調さを維持し賃金も緩やかな増加傾向が見られる中、企業業績は緩やかな拡大を維持しました。

国内におきましては、平成26年4月の消費税増税後に低迷していた個人消費が緩やかな回復基調に転じ、企業の景況感が改善に転じました。また、輸出についても、緩やかながらも海外経済の回復が続く中で円安傾向の定着が追い風となりました。

このような状況のもと、当社グループは、「人と自然のふれあいの中で、新しい価値を創造し、健康とよろこびに貢献する。」を使命に、健康志向や環境保全意識の高まりといった追い風の中、こころ躍る製品づくりを通じ、より豊かな自転車ライフ・フィッシングライフのご提案をまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は98,022百万円（前年同期比29.5%増）、営業利益は23,191百万円（前年同期比63.0%増）、経常利益は27,218百万円（前年同期比96.8%増）、四半期純利益は20,443百万円（前年同期比104.8%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 自転車部品

欧州、北米市場は、ともに天候要因による需要低下はほとんど見られず、一方で自転車活用に対する社会的注目度が強まる中、第1四半期の店頭販売は順調に推移しました。その結果市場在庫は適正からやや低いレベルを維持しております。

日本では、スポーツタイプ自転車の店頭販売は堅調を維持したものの、軽快車の店頭販売は円安による値上げの影響を大きく受けて低調に推移しており、軽快車の市場在庫はやや高いレベルに留まっています。

新興国市場におけるスポーツタイプ自転車は堅調な伸びを継続しておりますが、一番の牽引役を担っている中国におけるスポーツタイプ自転車の第1四半期店頭販売は昨年並みに終わりました。

このような市況のもと、今後の市場動向への期待感により多くの注文をいただきました。加えて定着した円安による当社製品に対する割安感の追い風を引き続き受け、第1四半期の売上は予定を上回ることができました。

この結果、当セグメントの売上高は81,940百万円（前年同期比34.2%増）、営業利益は22,032百万円（前年同期比65.1%増）となりました。

② 釣具

国内市場では、年始から例年より多い降雪・荒天などの天候影響もあり、消費者の釣行機会の減少によって国内市場は低調な滑り出しとなりました。また、昨年3月には消費税増税前の需要増加がありましたが、今年は自立した動きも見られず、前年の売上を下回る結果となりました。

一方、海外市場では、東欧でのスローダウンはあったものの、西欧を含めた欧州全体では増収となりました。北米でも景況への危機感が薄れたこともあり、大手顧客を中心に多くの先行注文をいただき増収となりました。また、ニュージーランドを含めたオセアニア地域でも、天候、釣果にも恵まれ売上は堅調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は15,996百万円（前年同期比9.9%増）、営業利益は1,197百万円（前年同期比34.1%増）となりました。

③ その他

当セグメントの売上高は85百万円（前年同期比12.0%減）、営業損失は37百万円（前年同期は営業損失6百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産は401,886百万円(前連結会計年度比4,918百万円の増加)となりました。これは、受取手形及び売掛金が6,448百万円、商品及び製品が1,960百万円、建設仮勘定が1,368百万円、投資有価証券が1,006百万円それぞれ増加し、現金及び預金が5,729百万円減少したこと等によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は63,956百万円(前連結会計年度比1,816百万円の減少)となりました。これは、短期借入金が606百万円増加し、未払法人税等が1,938百万円、退職給付に係る負債が601百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は337,930百万円(前連結会計年度比6,735百万円の増加)となりました。これは、利益剰余金が15,955百万円増加し、為替換算調整勘定が10,204百万円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、欧州ではギリシャへの財政支援を巡ってEUとギリシャの間で6月末を期限とする再交渉の行方が注目されます。米国では海外経済の減速やドル高を背景に輸出が減速しているものの、3月の実質ゼロ金利政策維持決定を受けた回復トレンドは緩やかに続くと思われま

す。国内では、10月に予定されていた消費税増税が先送りになり、高所得者を中心に個人消費に回復が見られるほか企業の設備投資も増加基調にあります。また、原油価格の下落及び米国向け輸出の緩やかな持ち直し期待から、景気は緩やかながらも回復軌道をたどる見通しです。

このような経営環境の中、当社グループは、国内外の経済動向に注視しつつ、経営効率のさらなる向上を図り、より豊かで、新たな自転車文化、釣り文化の創造を促進してまいります。

なお、平成27年2月10日に公表いたしました当期の連結業績予想につきましては、これを修正し、第2四半期は売上高193,700百万円、営業利益45,000百万円、経常利益49,000百万円、当期純利益36,500百万円、通期は売上高357,000百万円、営業利益76,500百万円、経常利益80,500百万円、当期純利益59,000百万円とさせていただきます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

特定子会社以外の子会社の異動

当第1四半期連結会計期間において、Shimano New Zealand Ltd.はDouglas Johnson & Co Limitedから社名を変更しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(「退職給付に関する会計基準」等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用につきましては、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が592百万円減少し、利益剰余金が379百万円増加しております。

なお、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	157,841	152,111
受取手形及び売掛金	37,272	43,721
商品及び製品	40,150	42,110
仕掛品	22,375	22,071
原材料及び貯蔵品	5,647	5,975
繰延税金資産	3,214	2,887
その他	5,069	6,031
貸倒引当金	△184	△205
流動資産合計	271,386	274,704
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	41,692	40,806
機械装置及び運搬具(純額)	18,994	19,919
土地	13,137	13,020
リース資産(純額)	51	50
建設仮勘定	14,172	15,541
その他(純額)	6,386	6,215
有形固定資産合計	94,434	95,554
無形固定資産		
のれん	2,963	2,845
ソフトウェア	2,849	2,874
その他	7,203	7,457
無形固定資産合計	13,016	13,177
投資その他の資産		
投資有価証券	13,485	14,492
繰延税金資産	1,303	783
その他	3,833	3,663
貸倒引当金	△492	△488
投資その他の資産合計	18,129	18,450
固定資産合計	125,580	127,181
資産合計	396,967	401,886

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	16,545	16,901
短期借入金	9,796	10,403
未払法人税等	10,995	9,057
繰延税金負債	292	314
賞与引当金	1,986	1,970
役員賞与引当金	207	52
工場建替関連費用引当金	44	—
その他	17,876	17,989
流動負債合計	57,745	56,690
固定負債		
長期借入金	2,670	2,512
繰延税金負債	1,308	1,310
退職給付に係る負債	3,287	2,685
その他	761	756
固定負債合計	8,027	7,265
負債合計	65,772	63,956
純資産の部		
株主資本		
資本金	35,613	35,613
資本剰余金	5,823	5,823
利益剰余金	246,726	262,682
自己株式	△71	△75
株主資本合計	288,092	304,044
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,307	4,291
為替換算調整勘定	38,863	28,659
その他の包括利益累計額合計	42,171	32,950
少数株主持分	931	935
純資産合計	331,195	337,930
負債純資産合計	396,967	401,886

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
売上高	75,695	98,022
売上原価	46,956	57,429
売上総利益	28,739	40,592
販売費及び一般管理費	14,511	17,400
営業利益	14,227	23,191
営業外収益		
受取利息	249	336
受取配当金	14	82
為替差益	—	3,653
その他	383	82
営業外収益合計	646	4,155
営業外費用		
支払利息	73	69
為替差損	845	—
その他	126	59
営業外費用合計	1,044	128
経常利益	13,829	27,218
特別損失		
工場建替関連費用	336	85
特別損失合計	336	85
税金等調整前四半期純利益	13,493	27,132
法人税、住民税及び事業税	3,532	6,077
法人税等調整額	△40	567
法人税等合計	3,491	6,645
少数株主損益調整前四半期純利益	10,001	20,487
少数株主利益	21	43
四半期純利益	9,980	20,443

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	10,001	20,487
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△539	983
為替換算調整勘定	△3,388	△10,246
その他の包括利益合計	△3,928	△9,262
四半期包括利益	6,073	11,224
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,076	11,217
少数株主に係る四半期包括利益	△3	7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	連結
	自転車部品	釣具	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	61,048	14,550	96	75,695	—	75,695
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	61,048	14,550	96	75,695	—	75,695
セグメント利益又は損失(△)	13,341	892	△6	14,227	—	14,227

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	連結
	自転車部品	釣具	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	81,940	15,996	85	98,022	—	98,022
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	81,940	15,996	85	98,022	—	98,022
セグメント利益又は損失(△)	22,032	1,197	△37	23,191	—	23,191

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。